

(平成28年 6月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>6月の総入荷量は、前年同月に比べると鮮魚、冷凍魚は若干の減少であったが、加工水産物は大幅な減少となり、全体として7%の減少となった。</p> <p>取扱金額は、冷凍魚が値上がりしたことにより前年同月を上回ったものの、加工水産物の取扱数量が大幅に減少したことから、前年同月と比べ3%下回った。</p>
(区分別の動向) 鮮 魚	<p>6月の鮮魚の入荷量は、前年同月と比べ3%下回ったことから、平均単価は前年同月と比べ2%上回った。</p> <p>品目別には、はまち(天然)、けんさきいか等が好漁で入荷が上回ったため、価格は値下がりした。まあじ、さば、ひらめ等は漁獲の減少で入荷が下回ったため、価格は値上がりした。</p> <p>7月には、祇園祭に向けてはもの需要がピークを迎えることとなるが、現在のところはもの入荷は順調であり後は天候次第である。また今年の土用の丑は7月30日(土)で、年間消費量の大半がこの時期に消費されるが、今期もうなぎしらすが漁獲不振であったことから、活鰻は高値水準となっている。</p>
冷 凍 魚	<p>6月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ6%下回ったことから、平均単価は23%上回った。</p> <p>品目別には、冷えびは価格が値上がりしたため、入荷は減少した。冷さばは原料となる大型サイズが少ないため、入荷は減少した。冷あかうおは価格が値下がりしたことから、入荷は増加した。</p> <p>輸入冷凍魚においては、イギリスのEU離脱が国民投票で決定された以降、為替相場が急激に円高に振れていることから、今後の価格の動向が注視される。</p>
加 工 水 産 物	<p>6月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べ14%下回ったが、取扱数量の多いちりめん、国内産塩紅さけ等の高単価商材の入荷が大幅に下回ったことから、平均単価は前年並みであった。</p>

	<p>品目別には、塩さばは、最も需要の多い大型サイズが少なく、価格が高かった影響で入荷が減少した。またちりめんは、漁獲不振により入荷は減少したが、良品が少ないことから価格は低下した。</p> <p>7月には、土用の丑があり鰻蒲焼製品の市況は、国内産は前年に比べ1～2割程度の値上がりとなる見込みであるが、中国産は大型サイズを主体に値下がりしているのでお勧めである。また身欠きにしんと夏野菜のなすびを使った京のおばんざい「にしんなす」がお勧めの一品である。</p>
--	---

※生鮮魚：鮮魚，貝類，淡水魚

※冷凍魚：冷凍魚（鯨肉を除く）

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	兵庫，愛媛で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ39%下回ったため，価格は25%上回った。
ま い わ し	愛知，大阪で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ42%上回ったため，価格は12%下回った。
さ ば	三重，鹿児島で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ47%下回ったため，価格は33%上回った。
す る め い か	石川，青森で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ6%下回ったが，前年も不漁で高値となっていたことから，価格は前年並みであった。
太 物	入荷量はきはだまぐろは6%下回ったが，本まぐろが35%，めばちまぐろが4%上回ったことから，太物類の総入荷量は前年同月と比べ13%上回ったが，単価の高い本まぐろの入荷が増えたことから，価格は2%上回った。
け ん さ き い か	長崎，鳥取で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ27%上回ったため，価格は17%下回った。
は も (近海)	兵庫，愛媛で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ11%上回ったことから，価格は14%下回った。
(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月と比べ28%下回ったため，価格は12%上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ15%下回ったため，価格は3%上回った。
(加工水産物主要品目)	
塩 さ け	入荷量は国内産塩紅さけの減少等により，前年同月と比べ8%下回ったものの，低価格のチリ産銀さけが入荷を伸ばしたことから，

身 欠 に し ん	価格は4%下回った。  アメリカ、ロシア産主体の入荷で、需要が減退気味であることから、入荷量は前年同月と比べ4%下回ったが、価格は前年並みであった。
-----------	--